

## 令和8年度 調布市立布田小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
◎自ら考えくふうする子 ○けんこうでねばり強い子 ○なかよく助け合う子	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像、教員像、児童像	
「子どもたち一人一人を大切にする学校」	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	各学年・学級は全体的に落ち着いていて、子どもたちは真面目に学習に取り組む様子が見られる。テストで測ることができる学力は高い。しかし、学習・生活に主体的に取り組んだり、対話を通じて学んだりする経験をさらに積ませる必要がある。おだやかで協力的な子どもが多く、大きな事故などは少ない。一方で、小さな集団にまとまりがちで、粘りやこだわりに欠ける面がみられる。また、逆境に弱い。一人一人の子どもが尊重され、安心して自らの個性を伸長・発揮できる学校風土を、教職員の力を結集してつくりあげていきたい。 全教育活動を通じて、子どもたちに梅の心(◎知恵 ○勇氣 ○優しさ)を育成する。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言語感覚を養い、言葉をよりよく使い、考えや思いを伝え合う力を育てる。 ※昨年度全国学力・学習状況調査では、読むこと及び我が国の言語文化に課題が見られた。	1) 本文を根拠として自分の考えをもったり、自分の考えと比べながら友達のを聞き、考えを深めたりする授業を展開する。 2) 目的意識をもって書き、交流を通して文章をよりよくする指導の工夫を行う。 3) 取組の充実をめざし、今年度の校内研究との関連付けを図る。 ※R08全国学力・学習状況調査において、すべての問題で東京都平均正答率を上回ることをめざす。
社会	「生活環境や自らの生活に関わる社会認識」を中心におき、「問題解決に必要な観察力・資料活用能力・思考力・表現力・判断力など」を育てる。	1) 「問い」から展開していく流れを重視した授業を展開する。 2) 「社会的事象の見方・考え方」を働かせた学びが自ら行われるように資料の内容や提示の仕方を工夫する。 3) 学んだ事実を根拠に考え表現する学習場面を設定する。
算数	日常の事象を数理的にとらえ、筋道立てて考察する力を育てる。また、考えを簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりして伝え合う力を育てる。 ※昨年度全国学力・学習状況調査では、数量関係をとらえ、活用する問題に課題が見られた。	1) 習熟度別指導により、自力解決や交流・検討の機会を重視した学習活動を展開する。 2) 操作・図・式・言葉などを工夫し、問題場面や考えを様々な表現様式で表したり、表し換えたりして伝え合う活動を進める。 ※R08全国学力・学習状況調査において、すべての問題で東京都平均正答率を上回ることをめざす。
理科	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行い、多様な表現活動などを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育てる。	1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 2) 観察、実験の充実を図り、それらを根拠とした問題解決力を養う。
生活	活動や体験の過程において、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学び、生活を豊かにしようとする態度を育てる。また、自分自身や自分の生活について考え、表現する力を育てる。	1) 学校、家庭及び地域の生活への関わりを通して、自分との関わりに気付く活動を充実させる。 2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法で表現する方法を取り入れる。 3) 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長に気付き、感謝の気持ちや自分の思いを表現する取組を行う。
音楽	他者と協働しながら、音楽表現を生みだしたり、音楽を聴いてそのよさを見いだしたりする力を育てる。また音や音楽及び言葉による表現力を育てる。	1) 思いや意図をもって主体的に表現したり、曲や演奏のよさを見いだしたりして味わって聴く活動を充実させる。 2) 互いに交流したり、共有したり、共感したりする学びの中で学習を深められるような活動を取り入れる。
図画工作	造形的な見方・考え方を働かせて、創造的に発想や構想をして表現する力を育てる。また、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、豊かな情操を培う。	1) 全身の感覚を働かせて材料と関わり、体験的な授業を展開する。 2) 学期に一回は造形遊びを行い、「つくり、つくりかえ、つくる」活動を通して発想や構想の能力を培う。 3) 各題材で鑑賞の活動を行い、児童の見方・感じ方を深められるようにする。
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住など生活をよりよくしようと工夫しようとする態度を育てる。また、生活の中から問題を見出し、解決すべき課題を設定する力を育てる。	1) 生活に役立つ布製品の製作計画や活用について考えたり、工夫したりする。 2) 家で手伝いを行ったり、安全や衛生に気を付けて調理したりできるよう指導内容を工夫する。

<p>体育</p>	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その課題を解決する力を育てる。また、運動の行い方や健康・安全について理解し、基本的な動きを身に付け、課題解決に向けて思考し判断し、他者に伝える力を養い、健康の保持増進と体力の向上を目指す。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 取り組む運動の特性や楽しさを踏まえ、それらが味わえるよう学習過程を工夫する。</li> <li>2) 自己の能力やチームの特徴に応じた課題を見付け、その解決に向け運動の行い方を工夫したり、仲間とともに課題を解決したりできるよう、学習の流れを工夫する。</li> <li>3) 運動量を確保する。1時間当たりの運動量30分をめざす。</li> </ol>
<p>外国語</p>	<p>英語を使ったコミュニケーションを楽しむことを通じて、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの基礎的な技能を身に付けられるようにする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自分の考えや思いを英語で話したり聞いたりして伝え合う学習活動の機会を充実させる。</li> <li>2) 話したり聞いたりして活用した英語を読んだり書いたりして、伝え合う活動を振り返りながら読むこと・書くことの技能を身に付ける。</li> </ol>
<p>道徳科</p>	<p>よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実させる。</li> <li>2) 自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう授業のまとめを工夫する。</li> </ol>
<p>外国語活動</p>	<p>ALTや友達と積極的にコミュニケーションをとろうとする心情や取組を価値づけながら、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しめるようにする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自分の考えや思いを英語で話したり聞いたりして伝え合う学習活動の機会を充実させる。</li> </ol>